



東北大学

Tohoku University Fact Book 2020 : Digest

# 東北大学概要 2020 : ダイジェスト



## 総長挨拶



### はじめに

東北大学は1907年の建学以来、113年にわたり「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、そして「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出し、さらに世界的に卓越した研究成果によって人類の知の地平を拡大して、未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導してきました。また、2017年6月には、世界の有力大学と伍していくことを使命とする「指定国立大学法人」の最初の三校に指定されました。

現在、およそ17,800名の学生と6,300名の教職員を擁し、「杜の都」と呼ばれるこの仙台の地に、四季の気配を色濃く映す四つのキャンパスに10の学部と15の大学院研究科、3の専門職大学院、6の附置研究所に加え、教育研究に携わる機構・センターと図書館・病院などを有しています。

### 大変革時代の社会を先導する人材の育成

「教育」では、学生の挑戦心に応え、創造力を伸ばす教育として、未来社会に立ち向かうための基盤となる学士課程教育と、創造的で活力のある研究者・高度専門人材を育成する大学院教育を両輪に据えています。令和2年度からは、文理を問わずすべての新入生を対象に、時代が要請するAI・数理データ教育を行っています。また、全学教育プログラム「東北大学挑戦力レッジ」では、さらに①グローバルマインドセット、②AI・データスキル、③アントレプレナーシップを身に付けるための実践教育を提供しています。変革期を生きる学生諸君が、現代的なリベラルアーツを身につけ、その上で自らの「挑戦する心」を大きく伸ばす取組みを推進しています。

### 卓越した学術研究を通じた知の創造

「研究」については、「世界三十傑大学」にふさわしい総合研究大学として、自由な発想に基づく基礎研究の推進、新興・分野融合研究の開拓、そして世界トップレベル研究の推進に取り組んでいます。世界トップレベル研究拠点として指定した4つの分野の中で、東日本大震災を踏まえ、本学が世界を先導している研究分野である「災害科学」とともに「未来型医療」を推進しています。これは、東北メディカル・メガバンク機構によって進めてきた世界初の大規模3世代コホート調査を未来型医療（個別化医療、個別化予防）に展開するものです。本学が世界的に卓越した強みを有する「材料科学」と「スピントロニクス」分野をあわせ、世界トップレベルの研究力を発揮し、時代を画する新たな学問領域の開拓とイノベーションの創出を強力に進めています。

### 多様なセクターとのパートナーシップによる新たな社会価値の創造

東北大学は建学の当初から民間および自治体等から大きな期待と支援を受け、社会とともに発展してきました。また、2011年の東日本大震災からの復興では、多様な領域の学知を基盤に貢献してきました。「社会との共創」では、このような活動と共に、戦略的産学共創の展開や校友ネットワークを核とした活力ある東北大学コミュニティの形成など、「社会とともにある大学」として、取り組んでいます。産学共創では2018年12月に設置したオープンイノベーション戦略機構が中心となり、スピントロニクス分野で先行して実績を挙げている「B-U-B (Business-University-Business) 型連携」(大学を核として異分野の多企業が参画する産学連携モデル)をライフサイエンス分野、マテリアルサイエンス分野へと展開しつつあります。「実学尊重」の理念に基づいた知を基盤とする社会価値創造を通して、持続可能で豊かな未来社会へ向けた変革・イノベーションを先導していきます。

### ポストコロナを見据えた持続可能な社会への貢献

2020年は、新型コロナウイルス感染症の世界的拡大で幕を開けました。東北大学は、東日本大震災に対峙したときがそうであったように、知の力によって、コロナ危機に続くニューノーマル時代、その後のポストコロナ時代を通して社会変革を先導する存在でありたいと考えます。感染症の脅威のみならず、気候変動、エネルギー問題、災害の多発、格差の拡大など、世界が多くの課題を抱える今こそ、私たちの多様な知識と人材の力をもって、新たな社会像を提示することが求められています。持続可能な開発目標(SDGs)が問いかける未来の実現に向けて、アカデミアの果たす役割は重大です。東北大学は、総合研究大学として大学が擁する多様な専門家の知を総合し、今後の社会のあり方を先導し新たな地平をひらいていきます。

### ニューノーマルを先導する東北大学へ

東北大学は、「最先端の創造、大変革への挑戦」をうたい2018年11月に公表した「東北大学ビジョン2030」をこのたびアップデートし、大学の変革を加速することにしました。教育、研究、社会との共創など、本学の諸活動のオンライン化を強力に進めるとともに、サイバー空間とリアル空間の融合的活用を通して、ボーダレスで多様性に富み、真にインクルーシブな大学と社会の未来を創っていきます。これまで以上に全学を挙げて変革に取り組み、本学の活動を飛躍的に発展させ、社会にそして世界に貢献していく所存です。

### 最後に

東北大学が今後一層社会に貢献するためには、広く市民の皆さま、産業界・経済界、自治体や国などの公的機関、同窓生を含む広い意味での本学関係者など、多様なセクターからのご支援、ご協力が欠かせません。本概要には本学の教育・研究活動や社会貢献、特色ある研究など、本学の最新の情報が記載されており、また、東北大学ホームページ(<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>)では、大学の最新情報をお届けしています。各位におかれましては、本学のさらなる挑戦への決意にご理解をいただき、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年7月  
東北大学総長 大野 英男



# 東北大学 113年の沿革

(令和2年7月現在)

1907年	6月22日、東北帝国大学創立
1911年	初代総長に、澤柳政太郎就任 「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念を打ち出す 理科大学開設(数学科・物理学科・化学科) 図書館設置
1913年	理科大学で女子の入学を認める(日本初の女性大学生) 県立宮城病院を東北帝国大学に移管(後の東北大学病院)
1915年	医科大学開設 臨時理化学研究所設置(鉄鋼研究所の前身)
1918年	農科大学を分離、北海道帝国大学農科大学となる
1919年	理科大学は、理学部となる 医科大学は、医学部となる 附属鉄鋼研究所設置 工学部設置
1922年	法文学部開設 附属鉄鋼研究所を廃止し、金属材料研究所附置
1935年	附属電気通信研究所設置
1941年	抗酸菌病研究所附置 選鉱製錬研究所附置
1943年	高速力学研究所附置 科学計測研究所附置
1944年	非水溶液化学研究所附置
1947年	農学部設置 10月、東北大学に改称
1949年	学制改革に伴い、新制東北大学に改組 (文・教育・法・経済・理・医・工・農学部) 分校の設置(分校第一・第二・第三・教育教養部)
1953年	大学院設置(文・教育・法・経済・理・工・農学研究科)
1955年	医学研究科設置
1961年	薬学研究科設置
1964年	川内分校・川内東分校を廃止し教養部設置(1993年廃止)
1965年	歯学部設置 教育学部教員養成課程の分離独立(宮城教育大学)
1967年	歯学部附属病院設置
1972年	歯学研究科設置 薬学部設置

1973年	附属図書館本館を川内キャンパスに移転新築
1989年	高速力学研究所を流体科学研究所に改組
1991年	非水溶液化学研究所を反応化学研究所に改組
1992年	選鉱製錬研究所を素材工学研究所に改組
1993年	国際文化研究科、情報科学研究科設置 抗酸菌病研究所を加齢医学研究所に改組
1998年	未来科学技術共同研究センター(NICHe)設置
2001年	生命科学研究科設置 素材工学研究所・科学計測研究所・反応化学研究所の再編・ 統合により多元物質科学研究所設置
2002年	教育情報学教育部、教育情報学研究部設置
2003年	環境科学研究科設置 医学部・歯学部附属病院の合併により東北大学病院に
2004年	国立大学法人東北大学に改組 法科大学院、公共政策大学院設置
2005年	会計大学院設置
2006年	国際高等研究教育院設置
2007年	国際高等研究教育院を改組し、国際高等研究教育機構設置 6月22日、創立100周年 原子分子材料科学高等研究機構(AIMR)設置
2008年	医工学研究科設置 医学系研究科に保健学専攻設置 百周年記念会館「川内萩ホール」新装開館 青葉山新キャンパス建設工事着工
2011年	東北大学災害復興新生研究機構設置
2012年	東北メディカル・メガバンク機構設置 災害科学国際研究所設置
2013年	学際科学フロンティア研究所設置 女子学生入学100周年
2014年	高等研究機構設置 高度教養教育・学生支援機構設置 国際連携推進機構設置
2015年	学位プログラム推進機構設置 産学連携機構設置
2017年	農学部・農学研究科が青葉山新キャンパスへ移転

## 歴代総長



初代  
澤柳 政太郎



第2代  
北條 時敏



第3代  
福原 鏝二郎



第4代  
小川 正孝



第5代  
井上 仁吉



第6代  
本多 光太郎



第7代  
熊谷 岱蔵



第8代  
佐武 安太郎



第9代  
高橋 里美



第10代  
黒川 利雄



第11代  
石津 照暉



第12代  
本川 弘一



第13代  
加藤 陸奥雄



第14代  
前田 四郎



第15代  
石田 名香雄



第16代  
大谷 茂盛



第17代  
西澤 潤一



第18代  
阿部 博之



第19代  
吉本 高志



第20代  
井上 明久

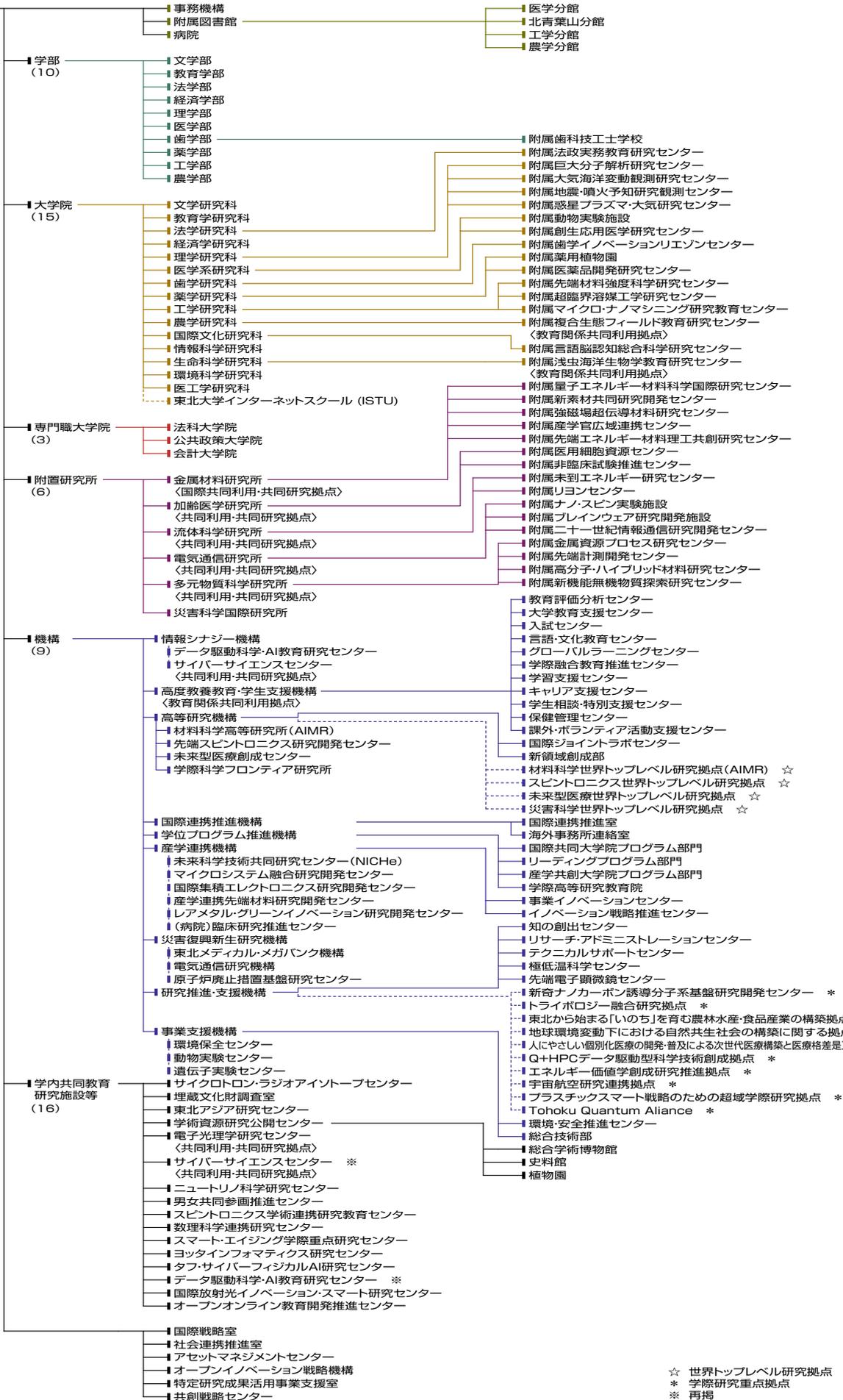


第21代  
里見 進

# 機構図

(令和2年7月1日現在)

国立大学法人東北大学  
東北大学



☆ 世界トップレベル研究拠点  
\* 学際研究重点拠点  
※ 再掲

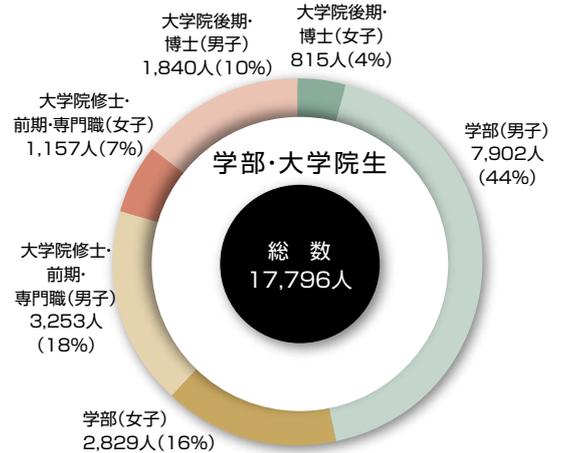
# 学生数

(令和2年5月1日現在)

## 学生総数

区分	学生定員	在籍者	
		人数	(内数)
学部学生	10,021	10,731	(2,829)
大学院学生(修士・前期・専門職)	3,848	4,410	(1,157)
大学院学生(後期・博士)	2,499	2,655	(815)
計	16,368	17,796	(4,801)
附属学校	20	13	(6)
合計	16,388	17,809	(4,807)

( )の数は女子で内数。私費留学生については、政府派遣留学生を含む



## 学部

学部名	総定員	在籍者	
		人数	(内数)
文学部	840	955	(497) [17]
教育学部	280	304	(156) [2]
法学部	640	715	(240) [5]
経済学部	1,080	1,158	(204) [10]
理学部	1,296	1,364	(214) [40]
医学部	1,367	1,405	(605) [5]
歯学部	318	318	(151) [9]
薬学部	360	392	(129) [1]
工学部	3,240	3,464	(382) [90]
農学部	600	656	(251) [24]
計	10,021	10,731	(2,829) [203]

( )の数は女子で内数、[ ]の数は留学生で内数

## 外国人留学生(国・地域別)

国・地域	留学生数
中国	1,282
インドネシア	132
韓国	92
台湾	70
タイ	49
フランス	42
インド	38
ベトナム	35
バングラディシュ	31
アメリカ合衆国	18
その他	292
合計	2,081

学部生、大学院生、研究生、日本語研修コース研修生、その他(特別聴講学生等)の合計

## 大学院

研究科等名	前期・修士・専門職			
	総定員	在籍者		
文学研究科	178	212	(112)	[89]
教育学研究科	90	84	(47)	[27]
法学研究科	230	198	(56)	[20]
経済学研究科	190	214	(90)	[117]
理学研究科	524	576	(102)	[58]
医学系研究科	184	229	(122)	[41]
歯学研究科	14	19	(13)	[1]
薬学研究科	108	122	(33)	[8]
工学研究科	1,272	1,548	(196)	[233]
農学研究科	218	293	(131)	[49]
国際文化研究科	70	70	(49)	[57]
情報科学研究科	280	319	(36)	[68]
生命科学研究科	212	208	(92)	[26]
環境科学研究科	200	222	(57)	[47]
医学研究科	78	96	(21)	[7]
教育情報学教育部	—	0	0	[0]
計	3,848	4,410	(1,157)	[848]

( )の数は女子で内数、[ ]の数は留学生で内数

研究科等名	後期・博士			
	総定員	在籍者		
文学研究科	121	193	(87)	[63]
教育学研究科	45	69	(30)	[7]
法学研究科	36	52	(14)	[19]
経済学研究科	54	49	(19)	[29]
理学研究科	390	264	(47)	[84]
医学系研究科	583	737	(241)	[81]
歯学研究科	168	182	(88)	[42]
薬学研究科	70	50	(8)	[9]
工学研究科	522	498	(87)	[207]
農学研究科	111	114	(46)	[38]
国際文化研究科	48	57	(35)	[31]
情報科学研究科	126	127	(30)	[46]
生命科学研究科	90	83	(27)	[26]
環境科学研究科	99	109	(39)	[70]
医学研究科	36	56	(11)	[19]
教育情報学教育部	—	15	(6)	[1]
計	2,499	2,655	(815)	[772]

## 附属学校

学校名	定員	入学者		在籍者	
歯学部附属歯科技工士学校	20×1学年	0	(0)	13	(6)

( )の数は女子で内数

※令和2年度より学生募集を停止

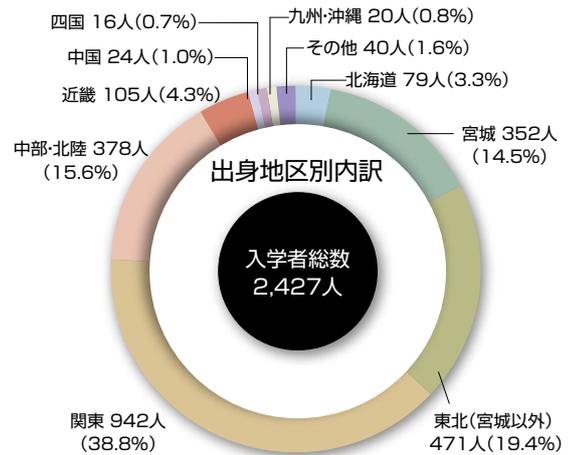
# 入学者数

(令和2年度)

## 学部

学部名	入学定員	入学志願者		入学者		
文学部	210	646	(337)	221	(111)	
教育学部	70	212	(92)	75	(36)	
法学部	160	501	(147)	167	(50)	
経済学部	(文系)	230	893	(135)	238	(32)
	(理系)	30	105	(11)	31	(3)
		20	29	(8)	2	(0)
理学部	324	1,687	(246)	326	(52)	
医学部	医学科	116	517	(141)	118	(31)
	保健学科	144	325	(247)	142	(107)
歯学部	53	187	(82)	53	(23)	
薬学部	80	259	(93)	85	(21)	
工学部	810	2,214	(333)	815	(95)	
農学部	150	421	(181)	156	(55)	
計	2,377	7,967	(2,045)	2,427	(616)	
	20	29	(8)	2	(0)	

( )の数は女子で内数 下欄の数は3年次編入学に係る数字で外数、《 》の数は女子で内数



## 大学院

研究科等名	前期・修士・専門職				
	入学定員	入学志願者	入学者		
文学研究科	89	173	(107)	90	(51)
教育学研究科	45	115	(71)	41	(23)
法学研究科	90	196	(50)	88	(23)
経済学研究科	100	251	(95)	62	(24)
理学研究科	262	330	(47)	257	(37)
医学系研究科	92	115	(60)	95	(46)
歯学研究科	8	10	(7)	9	(6)
薬学研究科	54	59	(16)	55	(15)
工学研究科	636	887	(110)	692	(78)
農学研究科	109	174	(76)	134	(59)
国際文化研究科	35	51	(33)	35	(23)
情報科学研究科	140	187	(22)	144	(16)
生命科学研究科	106	114	(47)	93	(43)
環境科学研究科	100	111	(23)	97	(21)
医工学研究科	39	58	(8)	41	(6)
計	1,905	2,831	(772)	1,933	(471)

( )の数は女子で内数

後期・博士				
入学定員	入学志願者	入学者		
38	57	(29)	45	(23)
15	21	(10)	15	(8)
12	9	(0)	8	(0)
14	5	(3)	5	(3)
130	66	(6)	63	(6)
151	153	(43)	147	(42)
42	35	(19)	31	(18)
22	19	(5)	19	(5)
174	110	(16)	105	(16)
37	22	(10)	21	(9)
16	10	(7)	7	(5)
42	30	(5)	27	(5)
30	17	(3)	17	(3)
33	19	(4)	15	(3)
12	12	(5)	12	(5)
768	585	(165)	537	(151)

# 卒業

## 卒業・修了者数

(令和2年3月31日現在)

区分	旧制 (学部: 昭和24年4月以前入学者 後期・博士: 昭和28年3月以前入学者)	新制 (学部: 昭和24年5月以降入学者 大学院: 昭和28年4月以降入学者)	
		令和元年度	累計
学部	17,236	2,459	141,647
大学院	前期・修士・専門職	1,968	63,482
	後期・博士(課程)	571	19,387
	後期・博士(論博)	21	9,410

## 卒業・修了後の状況 (令和元年度卒業・修了)

(令和2年5月1日現在)

区分	進学者数	就職者数	その他
学部	1,312	1,024	123
大学院	前期・修士・専門職	1,450	186
	後期・博士	6	495

就職者数には臨床研修医及び短時間勤務の有期雇用労働者等を含む

## 産業別就職者数

(令和元年5月1日現在)

産業	学部	大学院
農業、林業、漁業	4	1
鉱業、採石業、砂利採取業	0	11
建設業	21	62
製造業	113	858
電気・ガス・熱供給・水道業	31	57
情報通信業	122	219
運輸業、郵便業	17	32
卸売業、小売業	57	20
金融業、保険業	80	37
不動産業、物品賃貸業	19	5
学術研究、専門・技術サービス業	32	116
宿泊業、飲食サービス業	3	3
生活関連サービス業、娯楽業	8	6
教育、学習支援業	31	166
医療、福祉	91	174
複合サービス事業	5	13
サービス業(他に分類されないもの)	29	19
公務(国家公務)	80	32
公務(地方公務)	103	49
その他	3	11
計	849	1,891

## 役員・職員数

(令和2年5月1日現在)

総長	理事	監事	教授	准教授	講師	助教	助手	教員計	事務・技術職員等	計
1	8(1)	2(1)	894	761	195	1,212	157	3,219	3,196	6,426

※再雇用職員含む。 ※休職者含む。 ※( )は非常勤で内数。

## 役員・主な役職者

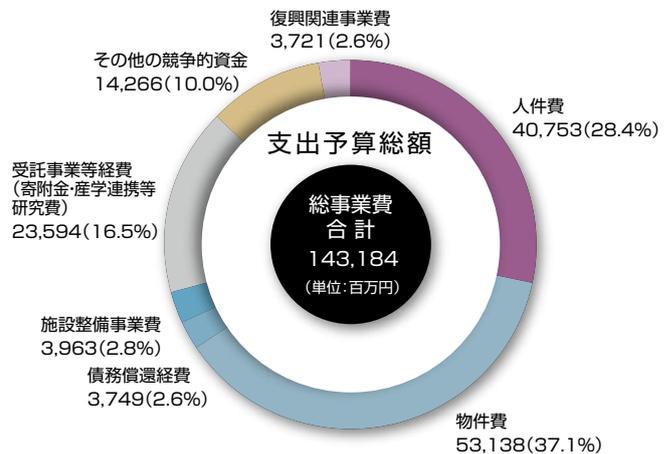
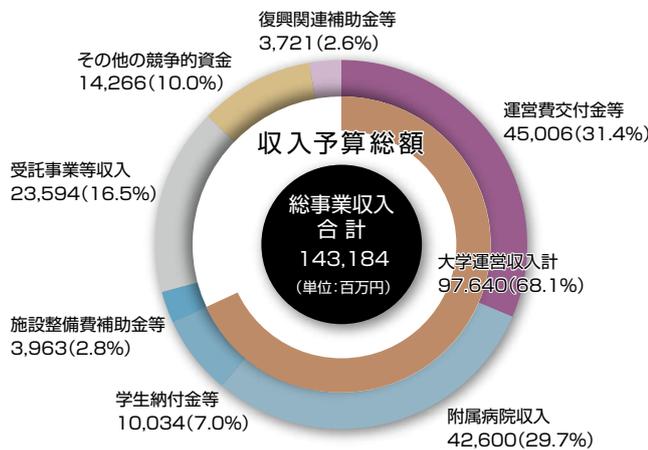
(令和2年7月1日現在)

総長	大野英男
理事・副学長(企画戦略総括担当)	青木孝文
理事・副学長(教育・学生支援担当)	滝澤博胤
理事・副学長(研究担当)	小谷元子
理事・副学長(総務・財務・国際展開担当)	植木俊哉
理事・副学長(社会連携・震災復興推進担当)	原信義
理事(人事労務・環境安全・施設担当)	下間康行
理事(産学連携担当)	植田拓郎
理事(非常勤)(データ戦略・社会共創担当)	土井美和子
監事	小林邦英

監事(非常勤)	牛尾陽子
副学長(病院経営担当)	富永悌二
副学長(教育改革・国際戦略担当)	山口昌弘
副学長(広報・共同企画担当)	大隅典子
副学長(改革・企画担当)	植木誠
総長補佐	成瀬幸典
総長補佐	八重樫伸生
総長補佐	長坂徹也
総長補佐	今村文彦

## 収入・支出予算

(令和2年度)



## 科学研究費助成事業(文部科学省)交付実績

(令和元年度)

採択件数(件)	交付額(千円)		
	直接経費	間接経費	計
2,763	7,846,600	2,280,906	10,127,506

## 寄附金・受託研究等契約実績

(令和元年度)

	寄附金	受託研究等経費					学術指導	計
		民間等との共同研究	受託研究			小計		
			一般	競争的資金	小計			
件数(件)	2,917	1,443	351	384	735	2,178	354	5,449
受入金額(千円)	3,399,702	5,072,003	6,396,582	6,006,700	12,403,282	17,475,285	229,631	21,104,618

## 海外拠点

(令和2年5月1日現在)

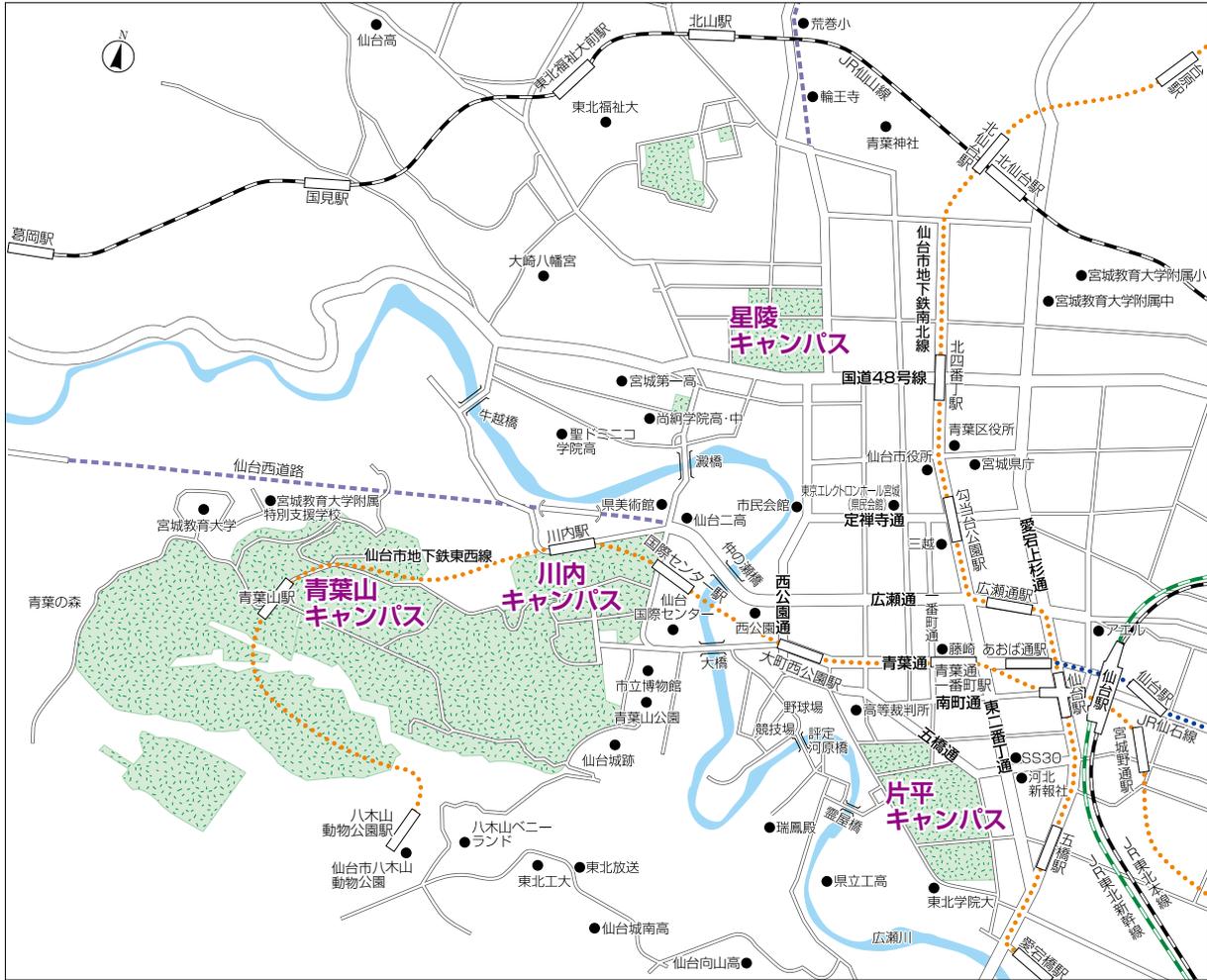
海外代表事務所	3ヶ国	3ヶ所
リエゾンオフィス	12ヶ国・地域	16ヶ所
国際ジョイントラボセンター	3ヶ国・地域	3ヶ所

## 学術交流協定締結等

(令和2年5月1日現在)

大学間協定	35ヶ国・地域	249機関
部局間協定	64ヶ国・地域	478機関

# キャンパス情報



## 片平キャンパス



生命科学研究所 / 法科大学院 / 公共政策大学院 / 会計大学院 / 金属材料研究所 / 流体科学研究所 / 電気通信研究所 / 多元物質科学研究所 / 材料科学高等研究所  
〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1

仙台市地下鉄東西線

●「青葉通一番町駅」南1口から徒歩約10分

## 青葉山キャンパス



●青葉山東キャンパス  
工学部・工学研究科 / 医工学研究科 / 未来科学技術共同研究センター  
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉6-6  
●青葉山北キャンパス  
理学部・理学研究科 / 薬学部・薬学研究科 / 情報科学研究科  
〒980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3  
●青葉山新キャンパス  
農学部・農学研究科 / 環境科学研究科 / 災害科学国際研究所  
〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉468-1

仙台市地下鉄東西線

●「青葉山駅」キャンパス直結

## 川内キャンパス



●川内南キャンパス  
文学部・文学研究科 / 教育学部・教育学研究科 / 法学部・法学研究科 / 経済学部・経済学研究科  
〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1  
●川内北キャンパス  
国際文化研究科 / 東北アジア研究センター  
〒980-8576 仙台市青葉区川内41

仙台市地下鉄東西線

●「川内駅」キャンパス直結  
●「国際センター駅」西1口から徒歩約5分

## 星陵キャンパス



●病院  
〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1  
●医学部・医学系研究科  
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町2-1  
●東北メディカル・メガバンク機構  
〒980-8573 仙台市青葉区星陵町2-1  
●歯学部・歯学研究科 / 加齢医学研究所  
〒980-8575 仙台市青葉区星陵町4-1

仙台市営バス

●JR 仙台駅西口バスプール⑩・⑪・⑫番のりば「大学病院経由」から約15分、「大学病院前」下車  
●青葉通⑨・⑩番のりば、「交通局大学病院行」から約15分、「交通局大学病院前」下車  
●JR 仙台駅西口バスプール⑫番のりば「子平町→北山循環」から約15分、「歯学部・東北会病院前」下車

仙台市地下鉄南北線

●「北四番丁駅」から徒歩約15分

● 東北大学概要 2020 ●

[編集・発行] 令和2年7月

東北大学総務企画部広報室

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 Tel.022-217-4977

<http://www.tohoku.ac.jp/>